

鳥海山 1800-1804 年噴火で発生したブルカノ式噴火の記録 Historic records of Vulcanian eruption during 1800-1804 activity of Chokai volcano

林 信太郎^{1*}, 伴 雅雄², 大場 司³
Shintaro Hayashi^{1*}, Masao Ban², Tsukasa Ohba³

¹ 秋田大学・教, ² 山形大学・理, ³ 秋田大学・工資

¹Faculty of Edu. and Human Studies, Akita Univ., ²Faculty of Sci., Yamagata Univ., ³Faculty of Eng. and Res. Sci., Akita Univ.

鳥海山の 1800-1804 噴火の古文書を再検討した, その結果,

1) 1801 年 8 月 (享和元年七月) の噴火は, 間欠的な爆発の発生, 高温の火山弾の放出, 空振の発生, マグマ性の噴煙の発生などの特徴を持ち, ブルカノ式噴火であったと考えられる.

2) ブルカノ式噴火を含めたマグマの表面活動は 1801 年 8 月 (享和元年七月) の 2 週間ないし 3 週間継続した可能性が高い.

なお, ブルカノ式噴火にはしばしば火砕流が伴う. したがって, 今後防災対応については若干の見直しが必要であろう.

キーワード: ブルカノ式噴火, 鳥海火山, 古文書

Keywords: Vulcanian eruption, Chokai volcano, Historic record